

2021 年度「英語で専門分野の授業を聴く」を開催しました

はじめに

この授業は、学生が科学技術分野の英語の講演や授業を聞いて理解できるようになることを目的として、2019 年度に外部から講師をおよびして、対面形式で 3 回開催しました。しかし、昨年度はコロナ禍のため、リモート授業として 17 回開催しました。比較的好評であったため、引き続き今年度も 5 月から 12 月までの間、開催しました。リモートの利点を生かすため、前期はドイツ、タイ、サウジアラビア、台湾、アメリカ、マレーシアなどから直接授業をしていただき、講師の先生方には時差のため大変なご努力をしていただきました。後期は単発の授業としてではなく、まとまった内容でシリーズの授業という点に重点を置きました。

前期は Zoom ミーティングによる遠隔授業のみでしたが、後期は隔週水曜日 14 時 30 分から 16 時に時間を定めて、リモートと視聴覚教室でのパブリックビュー（PV）形式を併用して同時開催しました。

1. 授業（講演）者

国内外の大学・研究機関等で研究・仕事に従事されていて、英語を主たるコミュニケーションの手段としている理工系研究者・技術者の方々および本校物質工学科の Loukanov 先生（詳細は下記実施概要）

2. 受講形式

前期：受講希望者に Zoom 配信

後期：受講希望者に Zoom 配信および視聴覚教室でのパブリックビュー形式で開催

3. 対象

連携教育プログラム進学学生、専攻科 1・2 年生および本科 3-5 年生

4. 問合せ先

学生課 國松太郎

専攻科長（連携教育プログラム担当） 太田道也

物質工学科長 大和田恭子

専攻科連携教育特命教授 橋本修一

物質工学科准教授 Alexandre Loukanov

連携教育プログラム担当 川浦千秋

5. 実施概要

講義を実施してくださった先生方（一部紹介）と参加者



Prof. Satoshi Habuchi



Prof. V. Ramamurthy



Prof. Toyoko Imae



Prof. Loukanov



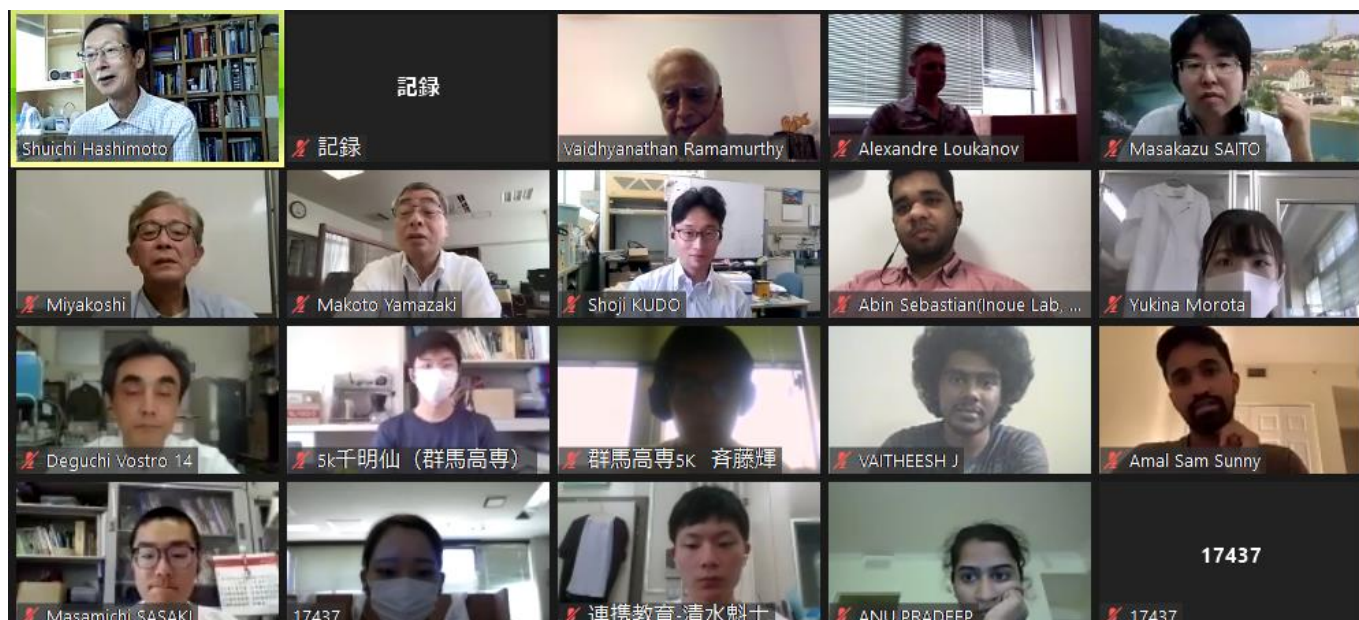
Dr. Wenisch



Prof. Rzeznicka



Prof. Bernard Saw



The Audience

プログラム

前期

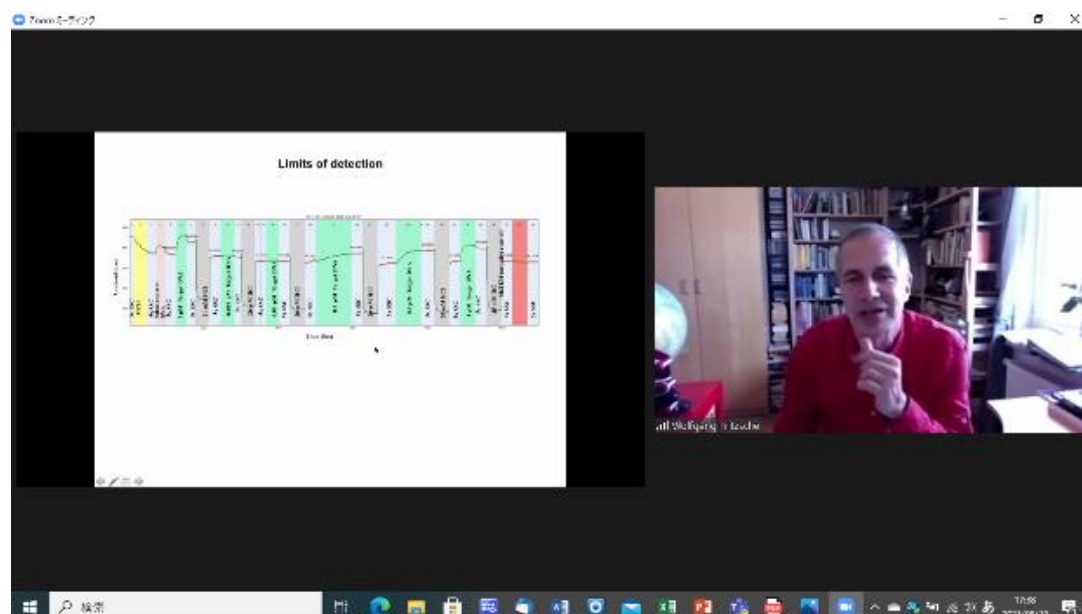
開催形式：Zoom ミーティング

第1回

講師：Professor Dr. Wolfgang Fritzsche (Leibniz Institute of Photonic Technology, Jena, Germany)

テーマ：An overview of Molecular Plasmonics

日時：5月19日(水) 17:00~18:30

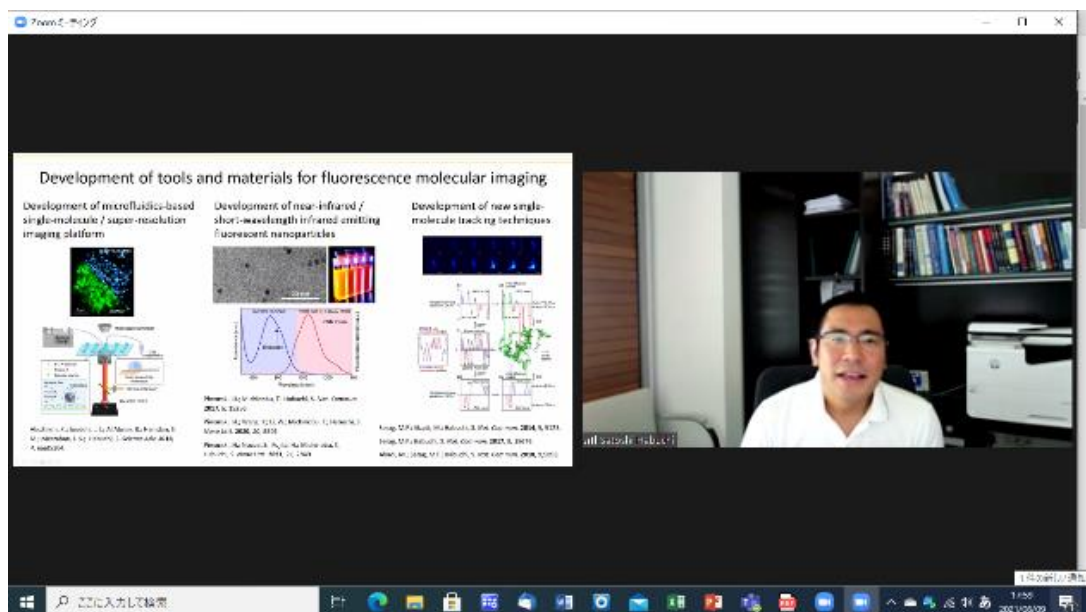


第2回

講師：Professor Satoshi Habuchi (Biological and Environmental Science and Engineering Division King Abdullah University of Science and Technology (KAUST), Thuwal, Saudi Arabia)

テーマ：Road to Saudi Arabia and Fluorescence Molecular Imaging

日 時：6月9日(水) 17:00~18:30



第3回

講 師：Professor Masaki Ujihara (Graduate Institute of Applied Science and Technology, National Taiwan University of Science and Technology (NTUST), Taiwan)

テーマ：Graphene: preparation, characterization, and applications

日 時：6月23日(水) 17:00~18:30



第4回

講 師：Professor Suphaphat Kwonpongsagoon (Department of Sanitary Engineering, Mahidol University, Thailand)

テーマ：Introduction to metabolism of the anthroposphere

日 時：7月7日(水) 17:00~18:30

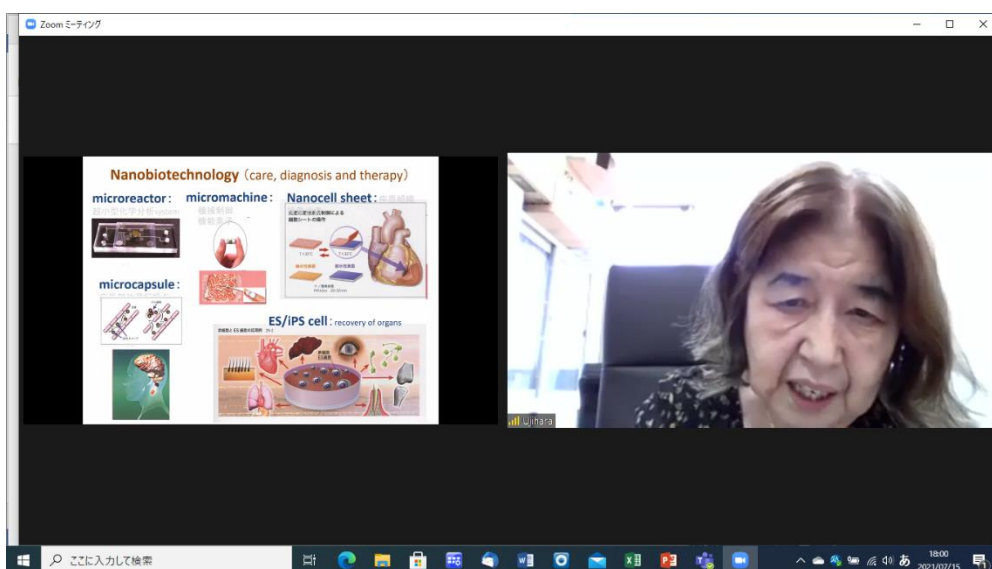


第5回

講師：Professor Toyoko Imae (Graduate Institute of Applied Science and Technology, National Taiwan University of Science and Technology (NTUST), Taiwan)

テーマ：Nanotechnology in life

日時：7月15日(木) 17:00~18:30



講師：Professor Vaidhyanathan Ramamurthy (Department of Chemistry, University of Miami (USA))

第6回

テーマ：Being a scientist-1

日時：8月10日(火) 9:00~10:30

第7回

テーマ：Being a scientist-2

日時：8月11日(水) 9:00~10:30

後期

開催形式 : Zoom ミーティング

視聴覚教室でのパブリックビュー(PV)形式でも開催

講師 : Dr. Helmut Wenisch (Digital Industry Business Development group, Siemens Japan)

第2回

テーマ : Innovation and Innovation Systems

日時 : 10月6日(水) 14:30~16:00

第3回

テーマ : Innovation in Large Companies

日時 : 10月13日(水) 14:30~16:00

第5回

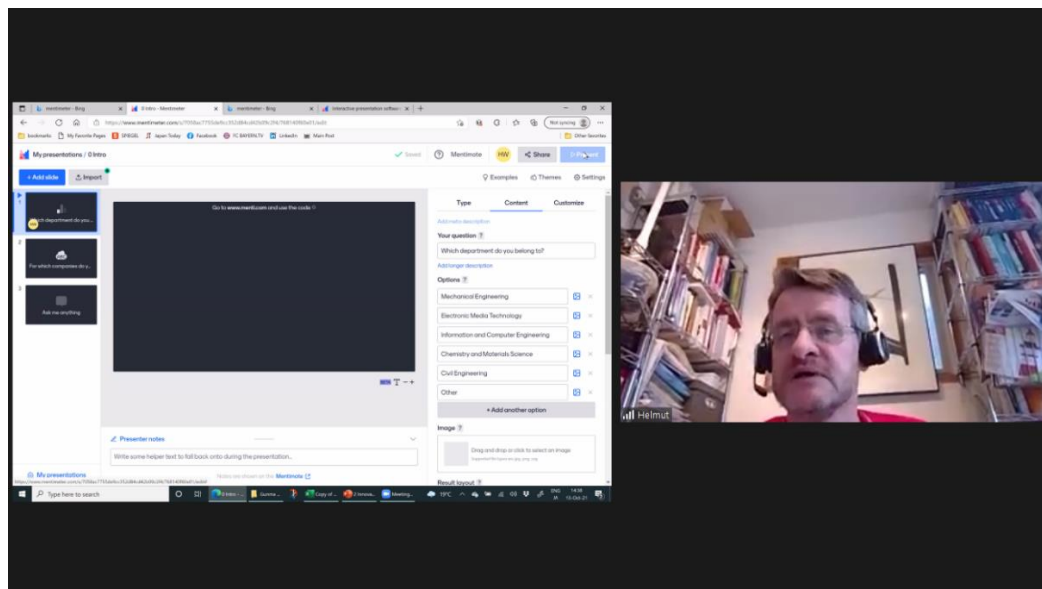
テーマ : Looking into the Future : Foresighting

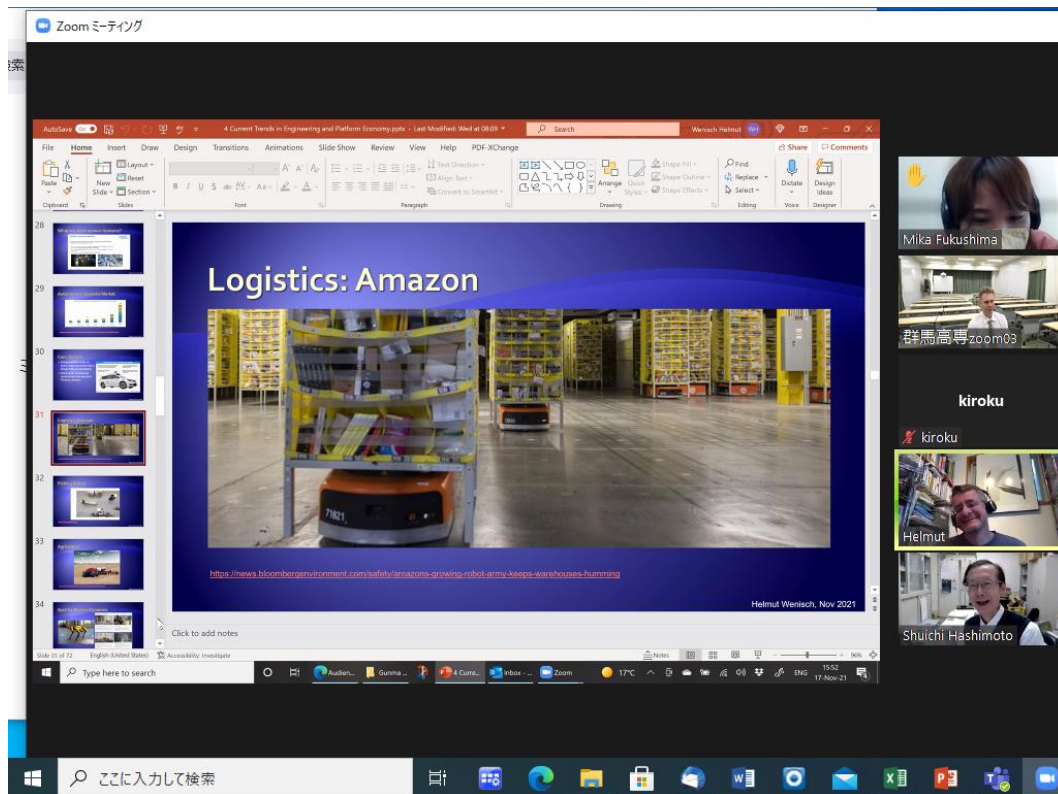
日時 : 11月10日(水) 14:30~16:00

第6回

テーマ : Current Trends in Engineering and Platform Economy

日時 : 11月17日(水) 14:30~16:00



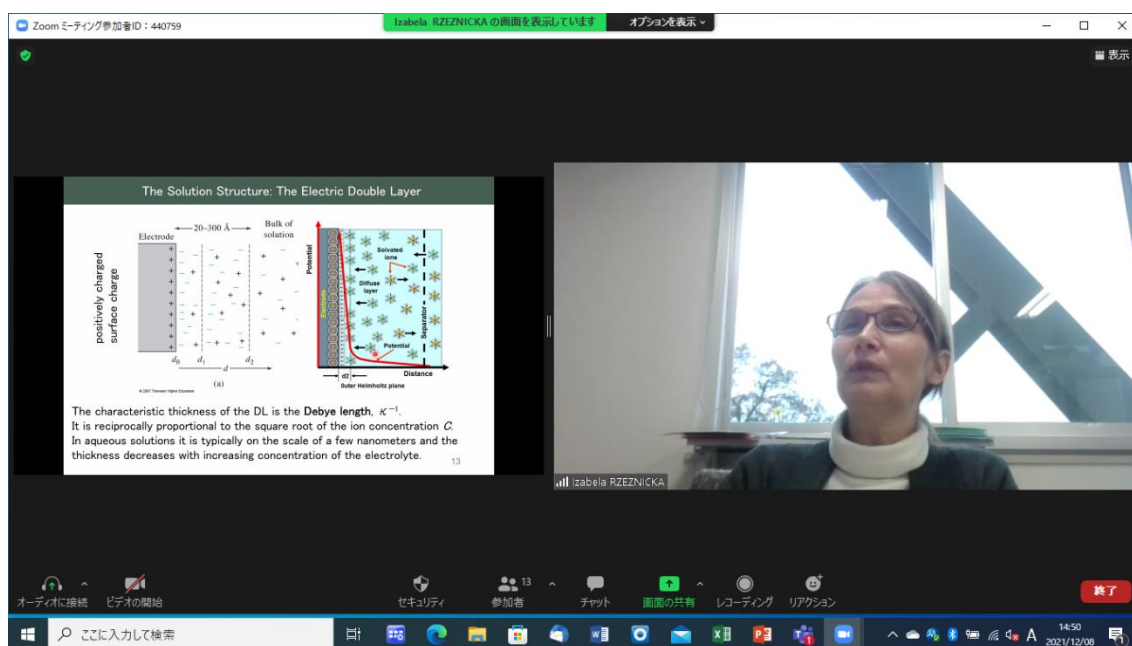


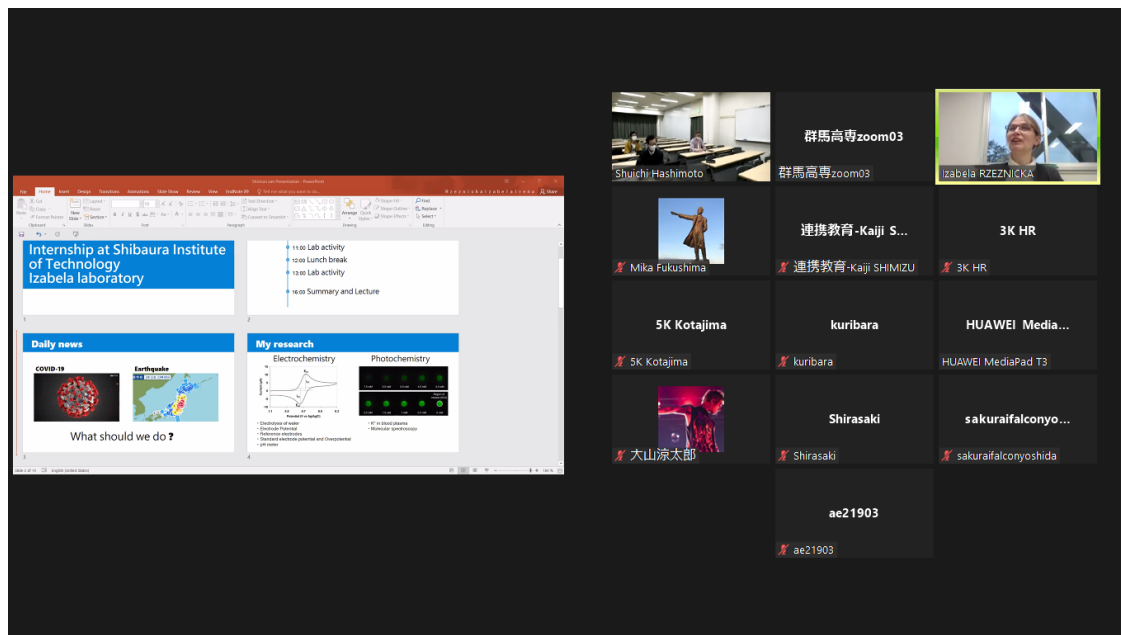
講師: Professor Izabela Rzeznicka (Innovative Global Program (IGP), Shibaura Institute of Technology)

第8回

テーマ: Basics of electrochemistry and oxygen-reduction reactions

日時: 12月8日(水) 14:30~16:00





講 師 : Alexander Loukanov

第 1 回

テーマ : Nanomachines and nanorobotics as next generation drugs for precision medicine.

日 時 : 9 月 29 日 (水) 14:30~16:00

第 4 回

テーマ : Metabolic labeling of genomic DNA in the living cell.

日 時 : 10 月 27 日 (水) 14:30~16:00

第 7 回

テーマ : Sensors and bioindicators for environmental monitoring.

日 時 : 12 月 1 日 (水) 14:30~16:00

第 9 回

テーマ : Environmental chemistry: accumulation and transformation of the pollutants

日 時 : 12 月 15 日 (水) 14:30~16:00

第 10 回

テーマ : Sustainable ecotechnologies for environmental protections.

日 時 : 12 月 22 日 (水) 14:30~16:00



6. 参加学生の感想等

連携教育プログラム2年生 K.S.

私が1番印象に残ったのはRamamurthy先生(授業タイトル: Being a scientist)の科学技術者の考え方についての授業です。4月から企業に就職する身として聞いていましたが、技術者としての倫理や心構えを再確認させられる、これからの自分達に必要な授業だと感じました。さらに、ご講演されている先生方が、実績のある先生ばかりで、成功されている方々だと思いますが、考え方は一つではなく、正解はないのだと気づかされました。

連携教育プログラム2年生 N.F.

講演を聴いている中で実際に自分が気になったことを質問できる機会はなかなかありません。それを英語で行うとなると、ごく限られた機会であり貴重な機会を頂いていると感じています。このような取り組みを行っているのは私の知っている中では群馬高専だけであり、その講演が二週間に一回聴けることも大変恵まれた環境にあると思っています。Ramamurthy 教授の講義は「科学研究者になるのはどういうことか」という人間の本质にかかわる授業ということもあり面白かったです。Olaf Karthaus先生はゆっくり話されていたこともあり、英語が一番聞き取りやすかったです。イザベラ先生は、学生への問いかけを交えながらアクティブラーニング形式でやられており、緊張しながら集中して聞くことができたと感じています。多くの先生が、ご講演中にクイズやアンケートを取られてましたが、他の聴講者の意見を見たり、クイズ大会形式で取り組むことができたことも面白かったです。